

施策分析シート（令和7年度）

No1

施策名	高齢者の社会参加の促進	施策No	02-01	部課名	福祉部高齢者福祉課
関連部課名	区民生活部区民施設課、福祉部福祉推進課				
行政評価 事業体系	分野	I	生涯健康都市	課長名	田上 内線 2660
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		

目的 就労やボランティア活動、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等、高齢者一人一人が自ら希望する形で社会に参加し、生きがいを実感しながら、充実した生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加を促進する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		4年度	5年度	6年度				
	①	自分の役割・居場所がある実感度	3.70	3.68	3.69	家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？		
	②							
	③							
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	高年者クラブ加入率（％）	8.33	7.97	7.55	7.02	12.00	会員数／60歳以上人口×100
	②	荒川シルバー大学受講者数（人）	1,044	1,159	1,135	1,169	1,550	4月1日現在の受講登録者数
	③	シルバー人材センター就業率（％）	76.5	77.6	75.4	77.0	80.00	就業実人員／会員数×100
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
行政費用	給与関係費	24,637	18,139	▲ 6,498	地方税等	0	0	0
	物件費	118,713	125,704	6,991	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	37,657	39,263	1,606
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	74,165	75,282	1,117	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	33,697	36,731	3,034	その他	9,081	7,179	▲ 1,902
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	46,738	46,442	▲ 296
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,830	1,959	▲ 871	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 207,304	▲ 211,373	▲ 4,069
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	254,042	257,815	3,773	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 207,304	▲ 211,373	▲ 4,069
特別費用	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 207,304	▲ 211,373	▲ 4,069
貸借対照表	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,316	1,010	▲ 306
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	841,786	805,056	▲ 36,730	賞与引当金	1,316	1,010	▲ 306
	土地	510,930	510,930	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	1,293,325	1,293,325	0	固定負債	12,084	8,035	▲ 4,049
	建物減価償却累計額	▲ 962,469	▲ 999,200	▲ 36,731	特別区債	0	0	0
	工作物等	20,105	20,105	0	退職給与引当金	12,084	8,035	▲ 4,049
	工作物等減価償却累計額	▲ 20,105	▲ 20,105	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	13,400	9,045	▲ 4,355
	建設仮勘定	0	11,097	11,097	正味財産	831,386	810,108	▲ 21,278
資産の部合計	その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	831,386	810,108	▲ 21,278
		844,786	819,153	▲ 25,633	負債及び正味財産の部合計	844,786	819,153	▲ 25,633

財務諸表に関する特徴的事項等

- 物件費のうち99.9%が委託料となっているが、ひろば館（6館 管理運営委託）や老人福祉センター・授産場（指定管理）等の各施設において、物価高騰等に伴う人件費増により、物件費は増加している。
- 補助費等のうち63%をシルバー人材センターへの補助金が占めている。
- 行政収入の「その他」には主に授産場事務費が計上されている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○総務省統計局「労働力調査」の2024年の就業者数について見ると65歳以上が930万人となっており、高齢者雇用確保措置の導入が義務付けられた2006年から上昇しており、高齢となっても働く方が増えている傾向にある。 ○シルバー大学の受講者数は1,200人程度で推移している。受講者の内訳を見ると、女性受講者に比べ男性受講者が少ない傾向にある。 ○シルバー人材センターの就業者数は1,200人程度、受託件数は6,000件程度と近年減少傾向となっている。
課題	○高齢者の活動の方法や形態等が多様化しているため、高齢者一人一人や団体等それぞれのニーズに対応した的確な支援が求められる。 ○シルバー大学をはじめ、生涯学習や世代間交流、介護予防の取組に男性の参加を促す講座等のメニューを充実させることが求められる。これまで地域活動に参加したことのない高齢者の参加を促すための工夫が必要である。 ○シルバー人材センターを通じて高齢者の雇用機会の拡大を図るため、会員数・就業者数の増加と受注拡大を図る必要がある。 ○就業希望がありながら就業できない者もあり、多様な社会参加のあり方やその可能性等についての情報を提供し、支援を行っていく必要がある。
今後の方向性	○高年者クラブやコミュニティカレッジ卒業生等、様々な活動を行う高齢者又は団体への支援を通して、新たな活動形態の創出につなげる。 ○高年者クラブやシルバー大学の活動等の周知や運営の支援を行い、高齢者の社会参加の促進や閉じこもりの防止につなげる。また、様々な高齢者ニーズに対応するための方策を検討し、高年者クラブやシルバー大学をより多くの高齢者が活動できる場としていく。 ○シルバー人材センターの会員数拡大を図るため、同センターへの支援を行っていくとともに周知活動を充実させる。 ○ハローワークや社会福祉協議会等の関係機関と協力し、就労をはじめとした多様な社会参加への支援を行っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
7年度	8年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者が生きがいや活力を実感し、充実した生活を営むことができるよう、就労等の支援を行うとともに、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等を促進し、感染症予防に配慮した上で、社会参加の機会の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		5年度	6年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
高齢者事業運営費	04-03-02	44,730	48,450	41,008	45,141	推進	推進	高齢者の生きがいづくりの機会拡大に寄与するよう、気軽に参加できる魅力あるプログラムの展開を求められている事業であるため、推進する。
老人福祉センター管理運営	08-01-21	85,755	88,616	74,711	73,573	重点的に推進	重点的に推進	高齢者が自発的に介護予防を実践できるよう、魅力ある事業の展開と介護予防の啓発を図るため、重点的に推進する。
高年者クラブ助成事業	08-03-01	32,678	29,073	25,627	25,168	推進	推進	各クラブの活性化を図るため、引き続き推進する。
高齢者生きがい事業補助（シルバー大学）	08-03-02	4,512	3,445	1,868	1,882	継続	継続	会員数の拡大に向け、活動等の周知を図るとともに、魅力的な講座や活動が展開されるよう継続していく。
シルバー人材センター管理運営	08-03-03	49,195	48,830	46,110	46,878	継続	継続	シルバー人材センターの安定運営及び高齢者の就業充実のため、継続していく。
荒川授産場管理運営	08-03-04	37,172	39,402	48,824	19,441	継続	継続	本施設の目的に鑑み、引き続き安定的な運営を図る。
合 計		254,042	257,816	238,148	212,083			